

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年05月26日

計画の名称	多様な人が集う地域ニーズを反映した安全で安心な都市公園づくり												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	弘前市												
計画の目標	<p>弘前市内の都市公園の多くが、整備されてから40年以上経過し、公園施設の老朽化が顕著である。</p> <p>安全で安心な公園環境を構築するため、長寿命化計画に基づき適切に維持管理された公園施設について、処分制限期間を経過し、かつ危険度判定調査において改善が必要とされた公園施設を計画的に改修・更新することで、公園施設の予防保全的管理を行う。</p> <p>さらに、人口減少や少子高齢化による利用頻度の少ない公園について、地域内の複数の既存公園の機能を再編成することで、地域住民のニーズを反映した魅力的な都市公園として再整備する。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	574	A	574	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	公園施設長寿命化計画に基づき、必要な改修・更新を実施した公園施設の割合を12.2%(R2)から13.4%(R6)にする。			
	必要な改修・更新を実施した公園施設の割合 (改修・更新済み公園施設数÷長寿命化計画対象公園施設数)×100	12%	12%	13%
2	再編成する公園の利用満足度の割合を0%(R3)から20.0%(R6)の伸び率にする。			
	再編成する公園の利用満足度の割合 再整備後の利用満足度-再整備前の利用満足度	0%	10%	20%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	弘前市	直接	弘前市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業	公園施設の改修・更新等	弘前市						191		策定済
	A12-002	公園	一般	弘前市	直接	弘前市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業(5か年老朽)	公園施設の改修・更新等	弘前市						228		策定済
	A12-003	公園	一般	弘前市	直接	弘前市	-	-	都市公園ストック再編事業	都市公園の再編等	弘前市						118		-
	A12-004	公園	一般	弘前市	直接	弘前市	-	-	公園施設長寿命化計画策定調査	長寿命化計画の変更	弘前市						37		策定済
											小計						574		
											合計						574		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本市の担当部局にて評価を実施	令和8年5月
	公表の方法
	市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	公園施設長寿命化計画に基づき、改築・更新した更新施設の割合について、16.8%（R6）と目標値（13.4%）を大きく上回ることができた。また、都市公園ストック再編事業を進める中で、目標（20%）よりも大幅な公園利用満足度の向上（82%）が確認できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	公園施設長寿命化計画策定により、公園施設の改築・更新に係る計画的な長寿命化対策が図られた。また、都市公園の再編により、管理費用の削減及び効率的・効果的な維持管理を行うことが可能となった。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・次期整備計画においても、引き続き公園施設長寿命化計画に沿った施設の改築・更新を計画的に進めることで、公園施設の予防的管理を行う。 ・都市公園ストック再編事業を継続し、複数の既存公園の機能を再編することで、地域住民のニーズを反映した魅力的な都市公園づくりを進める。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	改築・更新した施設の割合	
	最終目標値	13%
	最終実績値	17%
子供の安全な公園利用を最優先とし、補正予算等により遊戯施設の更新を重点的に行ったことで、目標値を大幅に上回った。		
2	公園の利用満足度の割合	
	最終目標値	20%
	最終実績値	82%
再編内容を決める際に、ワークショップや住民へのアンケート調査などを行うことで、多くの利用者の共感を得られ、満足度の向上に繋がった。		